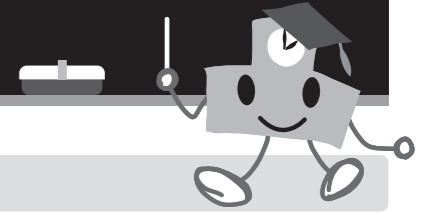


小学校の事例 豊平区 美園小学校

# 企業の申し出による特別授業を実施。地球を巡る水の動きをすごろくで体験。

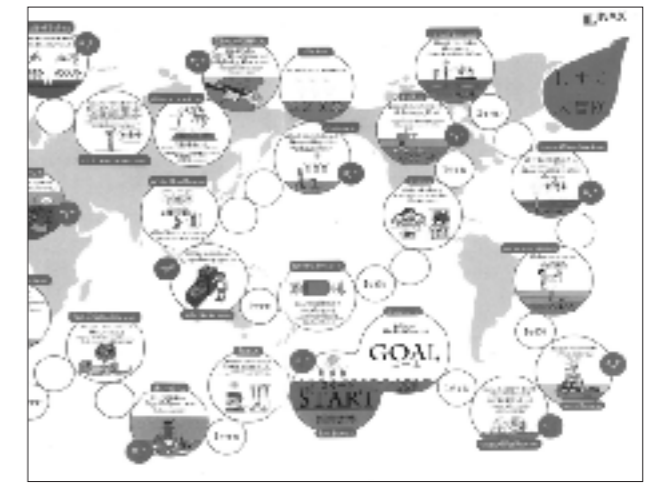
企業の協力で楽しみながら学ぶ授業。身近な「水」という題材を使い節水の意識向上へ。世界視点など学年によるステップアップを図ることで広く環境をとらえる心を養う。



## 内容 生活に欠かせない水の問題から 環境へ

本校では住設機器メーカーからの申し出によって特別授業を行った。これは2年前にメーカーから「子供たちに水についての授業をしたい」という電話があり、学校側が受け入れて始まった。本州では数校で行われているが、北海道では本校が初の授業で、2時間程度行われた。

この授業では、すごろくのようなパネルを使い、水の行方を説明。水は地球の中で循環している、ということを中心にして、私たちの生活に欠かせない「水」から環境問題に触れていった。最初は「子供たちには難しいのでは」と思ったが、子供たちの関心度は高く、資源としての水の循環について理解を深めていった。



水の行方を学ぶ「しずくの大冒険」

## 効果 水を無駄にしない意識が高まる

この授業の後、子供たちに水を大切にする意識の高まりが見られた。家庭や学校で、水の出っぱなしに気をつけるなどの行動をとるようになり、環境に対する配慮が育まれている。

今回の特別授業を受けたのは4年生であるが、社会科の学習にあわせて地元のダム見学なども行っており、いろいろな角度から水について学習することができた。この学習が5年生の学習で、世界規模で環境について考える土台となることを期待している。



特別授業のようす

### 広げよう つながりよう 環境学習の輪

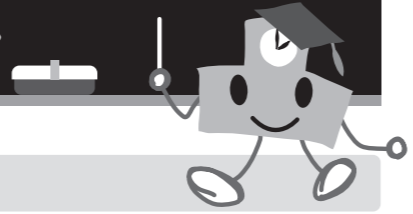
#### 実施校から メッセージ

子供たちの身の回りすべての物事が「環境」に結びつき、最終的には地球を考えることにつながっていきます。小さなことを見逃さず、ていねいに考えていくこと、知識だけではなく「自分目線」で「相手の立場になって考える」ことが大切です。その中から「何が大切か、そして深めていくことは何か」を見つめてほしいと思います。

小学校の事例 白石区 東橋小学校

# 児童が家庭のエコを研究、家族ぐるみでエコ行動の意識が高まる。

各家庭での電気やガスメーターを記録することで、身近な環境についても考える取組。改善策を家庭で話し合い、計画を立てることで、進んで環境について考え行動できる心を育てる。



## 内容 メーターをチェックしてエコ行動

本校では、自分たちにとって身近な家庭を題材に、環境やエコについて考えてみる「エコ名人になろう」という取組を展開。これは4年生が総合的な学習の時間を活用し、環境やエコについて学んだことがきっかけでスタートした。地域にある公園の観察を学習の導入とし、分別したごみのその後や処理方法、家庭での電気やガスの使用量を調べる。他の子供たちより多かった場合には家族と「改善するにはどうしたらよいか」を話し合う取組へと発展させている。「エコ名人になろう」では、家族や自分自身の生活を振り返り、家族単位や個人での計画を立てて実行している。普段なかなか見ることのない電気やガスのメー

ターを見て記録し、反省点を見つけて行動を改良していく流れを体験することで、より環境への意識が深まっている。一度成功することで「もっと～したい」という向上心が生まれ、継続的な活動へとつながっている。



交流のようす

## 今後 家庭でもエココミュニケーション

家族を巻き込んだこの取組では、家庭の中でのエコに関する会話が 증가、児童だけでなく家族にも環境に対する意識をもってもらえるよい機会になっている。学校の教育目標でもある「すすんで、主体的に活動する姿」を目指し、家庭でも主体的に動ける子どもとなるよう、さらに取組を発展させていこうと思っている。



まとめ新聞

### 広げよう つながりよう 環境学習の輪

#### 子どもたちからの感想

- ◆1週間は何も考えないでやっていたけど、3週間めは作戦を考えてエコしていたので電気を使う量がへってエコできたかなと感じました。今は、メーターをチェックしていないけど、エコすることはむずかしくはないので、これからもエコを続けて「地球にやさしい活動をしていきたいな～」と思いました。
- ◆前までは電気をつけたままにしていたり、冷蔵庫をあけっぱなしにしたり、テレビを見たいものがないのにつけっぱなしにしたりする毎日でしたが、なんと、さかさまになりました。その理由はこの学習に取組んだからです!がんばれば電気をむだなく使いこなせるんだなあと思いました。